

BUDŌ

# NEWS

## 今月のニュース

### 令和2年 全日本柔道選手権大会



(提供：全日本柔道連盟)

### 天皇盃・皇后盃 第48回 全日本空手道選手権大会



### 第35回 皇后盃 全日本女子柔道選手権大会



(提供：全日本柔道連盟)

### 東京五輪柔道男子 66キロ級 日本代表内定選手決定戦



(提供：全日本柔道連盟)



女子組手個人戦・決勝＝澤江優月（左）が  
帝京大同門対決を制し初優勝



男子組手個人戦・決勝＝崎山優成（左）は  
最後まで試合の主導権を渡さなかった

## 天皇盃・皇后盃 第48回全日本空手道選手権大会

# 組手 男女ともに大学生が制す

男子 崎山優成（近畿大学 工学部3年） 女子 澤江優月（帝京大学 2年）

形競技 男子 喜友名諒（劉衛流会）前人未到の9連覇

女子 大野ひかる（大分県防務）が悲願の初優勝

天皇盃・皇后盃第48回全日本空手道選手権大会（主催Ⅱ全日本空手道連盟）が昨年12月13日、日本武道館で開催され、組手・形競技の個人戦が行われた。

男子組手は、崎山優成（全空連推薦）が前年度優勝の五明宏人（ALSOK）を2-0で破り初優勝。女子組手は、澤江優月（学連）が島愛梨（大阪府）との帝京大学同門対決を7-4で制し、初優勝を果たした。

男子形は、喜友名諒（前年度優勝）が初優勝を狙う本一将（実業団）の挑戦を退け、前人未到の9連覇を達成。女子形は大野ひかる（九州地区）が清水希容（前年度優勝）の8連覇を阻止し、悲願の初優勝を手にした。

◆ 増改修工事を終え、昨年10月の供用再開後に日本武道館で武道の全日本選手権大会が行われるのはこれが初めて。新型コロナウイルス感染対策として、団体戦を取り止めたほか、選手は飛沫感染防止のため、メンホー（顔面防具）とマウスシールドの着用、審判はフェースシールド、マスク、手袋の着用が義務付けられた。観客は5千人に制限した。

## 組手競技

試合は、全日本空手道連盟競技規定に則り、各都道府県ならびに競技団体より選出された代表選手によるトーナメント方式で行われた。試合時間は男女とも3分間で、8ポイント差がついた時点で終了。同点の場合は「先取」（先にポイントを取る）の得点がある方を勝者とし、「先取」の得点がない場合は審判の旗判定により、勝敗を決した。

また、準決勝以降の試合において、選手の技が認められなかった場合に、監督の要求によりビデオ判定を行う「ビデオレビュー（VR）」を採用した。

### 男子（53名出場）

ナショナルチームから14名が出場した本大会で準決勝に勝ち残ったのは、連覇を狙う五明宏人（前年度優勝）、高松中央高校3年の北代涼馬（高体連）、67キロ級で東京五輪出場を目指す佐合尚人（全空連推薦）、近畿大学工学部3年の崎山優成（全空連推薦）の4名。

#### ▼準決勝戦①

五明宏人 7-7 北代涼馬

（旗判定3-2）

先に仕掛けたのは五明。スピードを活かし、ノーモンションでの刻み突きで先制すると、開始1分に差しかかったところ、右の突きからの右上段蹴りを決め、4-0とした。

さらに上段突きでポイントを加え5-0とリードするが、ここから北代が反撃に出る。北代は、右構えの五明の右手を払い、中段突きを打ち込む。旗は1本だったのが、VRの結果、これが認められ1ポイントを返す。その後も上段突き、中段突きと2連続でポイントを挙げ、北代が

徐々にペースをつかみ5-3まで追上げる。

両者に1ポイントずつが加算されて迎えた残り時間25秒、五明の三日月蹴りと北代の上段蹴りが交錯。これに両陣営がVRを要求すると、認められたのは北代。北代が3ポイントを獲得し、五明は6-7と逆転を許す。しかし、五明は北代が飛び込んだできたところに、カウンターの

上段突きを決め、残り12秒の土壇場で追いつく。「先取」ポイントでリードする五明だったが、守りの姿勢に入ったと判断され、カテゴリ2の3回目のウォーニングを宣告され「先取」が取り消され、そのまま試合終了。旗判定の結果、赤3本、青2本の僅差で五明が辛勝し、決勝進出を決めた。

#### ▼準決勝戦②

崎山優成 9-1 佐合尚人

第2試合は、75キロ級・崎山と60キロ級・佐合のナショナルチーム所属選手同士の対戦。序盤は両者前に出られず、相手の出方を窺（うかが）い膠着状態だったが、残り1分を切ったところで崎山の上段裏回し蹴りに青旗3



男子組手個人戦・準決勝②＝崎山優成（右）が上段裏回し蹴りでリードを広げる

本が挙がり、3ポイントを先制した。

その後は両者とも積極的に技を出すのが有効打にならないまま迎えた残り35秒、佐合が上段突きを繰り出すと、崎山はカウンターの上段裏回し蹴りで返したが、佐合がこの上段突きで1ポイントを奪う。これに対し崎山サイドがVRを要求するとこれが認められ、崎山にも3ポイントが加算され、残り34秒で崎山が6-1と大きくリード。

崎山は終了間際にも倒してからの中段突きで3ポイントを獲得し、9-1で試合終了。崎山が初の決勝進出を決めた。



▼決勝戦

崎山優成 2-0 五明宏人

決勝戦は連覇を目指す五明と、初優勝を狙う崎山が激突。

序盤は互いに右構えで距離を確認するように牽制し合う静かな立ち上がり。五明が上段蹴りを繰り出すも、崎山がしっかりとガードする。自分の得意な間合いで勝負したい五明は距離を取る。対する崎山は刻み突

きで距離を詰める。

互いに「先取」ポイントが欲しい状況での1分46秒、五明の右上段突

きに崎山がカウンターの左上段突きを合わせて先制する。ポイントを取った崎山はさらに前に出て、五明にプレッシャーをかける。

残り30秒で崎山の刻み突きと五明のワンツーが交錯。すかさず五明サイドがVRを要求するも認められない。

崎山がリードしたまま終盤へ。残り15秒を切ったところで五明が中段蹴りを出しても、崎山が腕でガードする。しかし崎山はそのまま場外に出てしまい、「先取」を取り消さ

れる。

再開直後、残り7秒で五明の刻み突きを崎山が出合いの中段突きでおさえ、リードを2ポイントに広げる。後がなくなった五明は上段蹴り、中段蹴りで崎山を攻め立てる。受けに回った崎山のバランスが崩れ、倒れたところに五明が上段突きを打つも、「やめ」がかかっておりポイントにならない。

試合終了のブザーと同時に崎山は雄叫びをあげた。終始試合の主導権

を握った崎山が2-0で初優勝を成し遂げた。最後まで攻めの姿勢を貫いた五明だったが連覇には一步届かなかった。

崎山は5歳の頃から父親の道場で空手道を始めた。コロナの影響で大学の練習場が使用できない時期があった。その時は実家のある高松に戻り、父の道場で稽古に励んだ。父親も成し得なかった日本一を親子二人三脚で達成した。



男子組手個人戦・決勝＝  
崎山優成（右）が鋭い踏み込みで中段突きを繰り出す

◎優勝者コメント



崎山優成選手  
(全空連推薦)

初めて優勝できて素直にうれいす。決勝戦は非常に接戦で、最後は危険な場面もありましたが、何とか集中してやりきることができました。五明選手は前拳が得意な選手なので、そこを抑える

組手を意識したことが勝因だと思います。

2020年1月のパリ大会から一度も試合がなく、久しぶりの試合でした。不安や緊張がありましたが、コロナによる自粛期間中にメンタル面を鍛えて臨むことができました。五明選手、佐合選手など実力者を破ったの優勝は、今後の自信につながると思います。

今年の目標は世界選手権とアジア大会へ出場するための選考会を突破して、大会で優勝できるようにやっていきたいです。



## ■女子 (52名出場)

準決勝に勝ち残ったのは、前回優勝の齊藤綾夏、2019年全国日本学生優勝の帝京大学2年・澤江優月(学連)、高松中央高校2年の釜つばさ(香川県)、全国高校選抜で優勝経験のある帝京大学2年の島愛梨(大阪府)。

### ▼準決勝戦①

澤江優月 5-0 齊藤綾夏

澤江が左の上段突きを決めポイントを先制した。齊藤は、澤江の足払いで牽制され、距離を詰めることができない。開始1分が過ぎ、齊藤が飛び込んで突きを出したところに澤江はカウンターの左上段突きを決



女子組手個人戦・準決勝①＝澤江優月(左)は安定した試合運びで勝利を収める

め、リードを2ポイントとする。

リードを許した齊藤は、積極的に蹴り技で澤江にプレッシャーをかけていく。残り1分で齊藤が上段突きにいくも旗は拳がらず、VRを要求。長い検証の結果もポイントは認められない。

焦りの色が見える齊藤に対し、澤江は冷静に対応する。澤江は終了間際にも飛び込んできた齊藤に中段蹴りを決めるなど最終スコアを5-0とし齊藤を降し、3度目の出場での決勝に駒を進めた。

### ▼準決勝戦②

島 愛梨 7-0 釜つばさ

島は3回戦で2015-18年に4連覇を達成した植草歩(千葉県)、4回戦で61キロ級で東京五輪日本代表候補の染谷真有美(全空連推薦)を破ってきた。対する釜は、3回戦を3-2の旗判定、4回戦を4-4の先取ポイントによる勝ちと接戦をものにして勝ち上がった高校2年生。

右構えの島に対し、左構えの釜。長身の釜がプレッシャーをかけていくが、間合いの取り方に定評がある



女子組手個人戦・準決勝②＝島愛梨(右)が積極的な攻めで勝利

島はうまく立ち回る。次の瞬間、島が一気に距離を詰めて左上段突きを出す、これに青旗が3本拳がり先制する。島は軽快なフットワークから連続の上段突きでポイントを重ねる。試合中盤で島は死角が生じるメソホーの特性を利用し、相手に見えにくい位置からの上段蹴りを決め、さらに3ポイントを加算し5-0とリードを広げる。

その後も試合の主導権を握る島。攻めあぐねる釜に対し、機を窺う島が遠間からの上段突きを決める。苦しい展開の釜は前に出るも有効打を決めることができない。試合終了間際にもポイントを奪った島が7-0の完勝で、決勝進出を決めた。

### ▼決勝戦

澤江優月 7-4 島 愛梨

決勝戦はともに帝京大学2年の2人、どちらが勝っても初優勝となる一戦。高校時代に全国高校選抜大会の団体日本一をかけて日本航空高校の澤江と御殿殿西の島が対戦し、同点のため先取ポイントで島が勝利している。現在はともに帝京大学に進学し、同じ道場で稽古している。

序盤から積極的な攻めを見せる両者。開始30秒過ぎで試合が動く。島が遠間から飛び込み、タイミングよく突きを繰り出すも旗は拳がらない。ここで島サイドがVRを要求し、これが認められ先制のポイントをあげる。

試合場中央で構える澤江に対し、その周りを軽快なフットワークで動きチャンスを探る島。体格で勝る澤江は突進力を活かし、相手を倒しての有効打を狙う。中盤に入り、後手に回る澤江は少しずつ攻め方を変える。残りが2分を切ったところで両者が同時に上段突きを繰り出す。審判の青旗3本が拳がり島に1ポイントが加算。澤江サイドは、すかさずVRを要求。これが成功し澤江に



女子組手個人戦・決勝戦＝  
澤江優月（左）が最後まで攻めの姿勢を貫き、初優勝を飾った

も1ポイントが与えられる。  
ここから澤江がギアをあげ、中段突き、上段突きでの連続ポイントで逆転に成功する。対する島も刻み突きて連続ポイントを挙げて、再度逆転し1ポイントのリードを奪う。残り1分を切ったところで間合いを詰めた澤江が刻み突きてポイントを挙げ三度同点に。両者一歩も譲らず、一進一退の攻防が展開される。

澤江はさらに積極的に前に出て、下がる島に狙いすました刻み突きを決め、ポイントを積み重ねる。その後、澤江は、自分の得意な間合いで試合をコントロール。澤江は終盤まで攻め続け、ポイントを稼ぎ、スコアを7-4とし、同門、同学年対決は澤江に軍配が上がり、嬉しい初優勝を飾った。

## ◎優勝者コメント



澤江優月選手  
(学連)

4年前の高校2年で初出場し、今回3度目の出場で優勝することができました。

島選手とは、何度も全国大会の決勝で戦ってきました。今朝も寮から電車で一緒に会場に来るときに、決勝のコートで戦えたらいいねと話しながら来ました。

準決勝まで勝ち上がったことで優勝を意識しました。優勝することができましたが、まだ気持ちが追いついていないです。

自分はまだ大学2年なので、目の前の試合に集中して取り組みたいと思います。目標は世界一なので、国際大会での実績を作りたいです。自分よりも大きな相手に対しての突破力や対応を研究し、今回のような試合で、自分の組手を貫いていきたいです。

## 形競技

各地区協議会ならびに各競技団体より選出された16名の選手による演武を審判7名が採点。予選ラウンドは選手を二つのプールに分け、全日本空手道連盟の指定形を2回演武する。各プールの上位4名がそれぞれランキングラウンド（計2プール）に進出後、得意形を演武し、各プール1位の選手2名で決勝が、プール2位の選手ともう一方のプール3位の選手で3位決定戦が行われた。

※指定形の演武は国際大会にはない全日本選手権独自のルール。指定形とは、4大流派の代表的な形を全空連が認定したもの。

## 男子（16名出場）

決勝は8連覇中の喜友名諒と初めての決勝進出を果たした本一将が対決。喜友名は大会前から「9連覇は意識しているが連覇が目的ではない。いつも通りの演武を見せる」と意気込みを語っていた通り予選から高得点をマーク。決勝の形は最も得意とするアーナン。シンプル

好評発売中

# 唐手から空手へ

金城 裕 著

四六判・上製・四五四頁

今の空手はその源流である唐手の精神と伝統の技を忘れて成長してしまった。空手の将来に豊かな展望を持つためにも、唐手誕生の歴史を正しく認識する必要がある――。

空手修業歴八十年。生涯を空手に捧げてきた著者が史料を繕きながら、唐手が誕生し、空手となった過程を辿る。武道研究者必携の一書。

◎ご注文・お問い合わせ◎

日本武道館 月刊「武道」編集部  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
<http://www.nipponbudokan.or.jp>



女子形個人戦・優勝＝大野ひかる  
決勝戦は会心のパーブルーレンで  
悲願の初優勝を決めた



男子形個人戦・優勝＝喜友名諒  
決勝では得意のアーナンで  
自己最高得点をマークした

## ■女子（16名出場）

に技の強さとスピードを劉衛流独自の技の激しさと体捌きで表現する。自粛期間中に土台となる下肢を強化し、突き、蹴りに力強さが増した。

一方の本は、ウンスーを演武。下半身の安定感や倒れこみながらの蹴り、空気を切り裂くような鋭い突きに特徴がある。大ジャンプからの着地も見事に決め、初の決勝戦でも挑戦者として攻める姿勢を見せた。

得点は喜友名が28・74点、本が27・60点。ハイレベルな戦いを制した喜友名は、採点制になってから自己最高得点をマークし、圧巻の演技で9連覇を達成。阿部良樹の持つ8連覇の大会記録を更新した。

決勝には、8連覇を目指す清水希容と3年ぶりの決勝進出で初優勝を狙う大野ひかるが駒を進めた。大野は、44回大会ではパーブルーレン、45回大会ではスーパールンペイで挑み、清水に決勝戦で負けている。

清水はチャタンヤラ・クーサンク1、大野はパーブルーレンを選択。

清水のチャタンヤラ・クーサンク1は、ジャンプや二段蹴りといった見せ場と、繊細な体の使い方ですピード感あふれる技を繰り出すのが特徴。清水は力強さを表現するためにミット打ちやチューブ練習を取り入

れ、基本重視の練習を積み重ねてきたという。

対する大野のパーブルーレンは、ゆったりとした動きから素早い動きへの緩急に特徴があり、無駄な動きが一切なくシンプルに技を出す。この日は予選から集中し、高得点をマークしていた。組手競技で実績のある大野ならではの相手を想定した臨場感を演出し、観客を引き込む演技を披露した。

両者の演武が終了し、得点が表示される。大野27・42点、清水26・94点の0・48点差で大野の初優勝が決まった。大野はコートを後にすると、堪えていた感情があふれ出た。



## 組手個人戦 男子

五明 宏人 (前年度優勝)

伊藤 颯彪 (愛 知)

石塚 鍊 (秋 田)

本村 魁都 (佐 賀)

崎山 慶成 (香 川)

足立 時嗣 (島 根)

杉安 孝允 (大 分)

保坂 悠斗 (長 野)

谷沢 元輝 (静 岡)

野村 駿太 (愛 媛)

山下 僚也 (三 重)

長沼 俊樹 (東 京)

中村 良太 (山 梨)

香川 幸允 (全空連推薦)

池田 蓮 (石 川)

中野壮一郎 (京 都)

中野 大輝 (大 阪)

芝本 航矢 (学 連)

才保佑一郎 (鹿児島)

荒川 雅俊 (埼 玉)

相馬 空 (青 森)

土井峻太郎 (奈 良)

北代 涼馬 (高体連)

西山 大輝 (熊 本)

石井 颯人 (実業団)

山口 将吾 (長 崎)

安藤 大騎 (兵 庫)

優勝

崎山 慶成

立花 彪貴 (学 連)

飯作雄太郎 (東 京)

鈴木 晃成 (福 島)

三橋 龍斗 (徳 島)

大橋 大憧 (栃 木)

森 優太 (神奈川)

岡野 魁志 (山 口)

梅山 竣也 (群 馬)

井本 匠 (和歌山)

原 龍治 (富 山)

片岡 光基 (高 知)

鹿村 良介 (岐 阜)

佐合 尚人 (全空連推薦)

崎山 慶成 (全空連推薦)

湯原 辰光 (茨 城)

新名 佑悟 (宮 崎)

村井慶太郎 (山 形)

山本 翔和 (福 岡)

須田 和宏 (鳥 取)

川島 賢人 (宮 城)

橋本 達輝 (広 島)

平田 京 (福 井)

福原 快都 (北海道)

宮崎 佑介 (千 葉)

小崎 友基 (大 阪)

宮里 康太 (沖 縄)

先 = 先取ポイント  
判 = 旗判定  
S = 失格  
KK = 棄権

## 組手個人戦 女子

先 = 先取ポイント  
判 = 旗判定  
S = 失格  
KK = 棄権

形競技 男子 (★=上位進出者、□=勝者、×=敗者)

| ▽予選ラウンド2回目・プール2 |         |       |         |        |         |        |        |         |        | ▽予選ラウンド1回目・プール1 |         |       |        |        |         |        |       |         |        |
|-----------------|---------|-------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|-----------------|---------|-------|--------|--------|---------|--------|-------|---------|--------|
| 佐々木 瞭友          | 杉野 拓海   | 船本 裕哉 | 在本 幸司   | 大島 虎太郎 | 菊地 凌之輔  | 新馬場 一将 | 本 一将   | 喜友 名 諒  | 喜友 名 諒 | 佐々木 瞭友          | 杉野 拓海   | 船本 裕哉 | 在本 幸司  | 大島 虎太郎 | 菊地 凌之輔  | 新馬場 一将 | 本 一将  | 喜友 名 諒  | 喜友 名 諒 |
| (北海道地区)         | (北信越地区) | (学連)  | (東北地区)  | (中国地区) | (全空連推薦) | (東海地区) | (実業団)  | (前年度優勝) | (九州地区) | (北海道地区)         | (北信越地区) | (学連)  | (東北地区) | (中国地区) | (全空連推薦) | (東海地区) | (実業団) | (前年度優勝) | (九州地区) |
| エンピ             | エンピ     | エンピ   | カンクウシヨウ | ニールパイポ | クルルンフア  | クルルンフア | クルルンフア | クルルンフア  | クルルンフア | エンピ             | エンピ     | エンピ   | カンクウダイ | セイエンチン | セイパイ    | カンクウダイ | ジョオン  | セイパイ    | セイパイ   |
| 22点             | 23点     | 23点   | 24点     | 24点    | 26点     | 26点    | 26点    | 26点     | 26点    | 20点             | 22点     | 22点   | 23点    | 24点    | 25点     | 25点    | 25点   | 25点     | 26点    |
| 53点             | 10点     | 65点   | 40点     | 90点    | 05点     | 10点    | 10点    | 22点     | 22点    | 66点             | 06点     | 54点   | 18点    | 42点    | 14点     | 56点    | 10点   | 10点     | 10点    |
| 7位              | 6位      | 5位    | 4位      | 3位     | 2位      | 1位     | 1位     | 8位      | 7位     | 6位              | 5位      | 4位    | 3位     | 2位     | 1位      | 1位     | 1位    | 1位      | 1位     |
| ★★★★            |         |       |         |        |         |        |        |         |        | ★★★★            |         |       |        |        |         |        |       |         |        |

形競技 女子 (★=上位進出者、□=勝者、×=敗者)

| ▽予選ラウンド2回目・プール2 |        |         |        |         |         |        |        |         |        | ▽予選ラウンド1回目・プール1 |         |        |        |         |         |        |        |         |        |
|-----------------|--------|---------|--------|---------|---------|--------|--------|---------|--------|-----------------|---------|--------|--------|---------|---------|--------|--------|---------|--------|
| 堀場 早耶           | 相原 知歩  | 戴本 光咲   | 梅景 唯   | 清水 那月   | 大内 美里   | 岩本 衣里  | 大野 ひかる | 清水 希容   | 清水 希容  | 堀場 早耶           | 相原 知歩   | 戴本 光咲  | 梅景 唯   | 清水 那月   | 大内 美里   | 岩本 衣里  | 大野 ひかる | 清水 希容   | 清水 希容  |
| (高体連)           | (四国地区) | (北信越地区) | (近畿地区) | (全空連推薦) | (全空連推薦) | (実業団)  | (九州地区) | (前年度優勝) | (関東地区) | (高体連)           | (北信越地区) | (四国地区) | (近畿地区) | (全空連推薦) | (全空連推薦) | (実業団)  | (九州地区) | (前年度優勝) | (関東地区) |
| ニールパイポ          | ニールパイポ | エンピ     | ニールパイポ | クルルンフア  | クルルンフア  | クルルンフア | クルルンフア | ニールパイポ  | ニールパイポ | ニールパイポ          | ニールパイポ  | エンピ    | ニールパイポ | クルルンフア  | クルルンフア  | クルルンフア | クルルンフア | ニールパイポ  | ニールパイポ |
| 21点             | 22点    | 22点     | 23点    | 24点     | 24点     | 25点    | 26点    | 20点     | 21点    | 21点             | 22点     | 22点    | 23点    | 24点     | 24点     | 25点    | 25点    | 25点     | 26点    |
| 93点             | 10点    | 12点     | 47点    | 40点     | 69点     | 54点    | 04点    | 90点     | 20点    | 31点             | 59点     | 71点    | 69点    | 94点     | 31点     | 31点    | 31点    | 31点     | 31点    |
| 8位              | 7位     | 6位      | 5位     | 4位      | 3位      | 2位     | 1位     | 8位      | 7位     | 6位              | 5位      | 4位     | 3位     | 2位      | 1位      | 1位     | 1位     | 1位      | 1位     |
| ★★★★            |        |         |        |         |         |        |        |         |        | ★★★★            |         |        |        |         |         |        |        |         |        |





▽決勝戦  
喜友名 諒（前年度優勝）  
本 一将（実業団）  
アーナン  
ウンスー

27 28  
· ·  
60 74  
点 点

$\times$   $\square$

▽3位決定戦

|        |         |           |
|--------|---------|-----------|
| 西山 走   | (九州地区)  | パーブルーレン   |
| 新馬場 一世 | (東海地区)  | スーパールインペイ |
| 林田 至史  | (全空連推薦) | ガンカク      |
| 菊地凌之輔  | (全空連推薦) | パーブルーレン   |

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 26 | 25 | 25 | 26 |
| .  | .  | .  | .  |
| 40 | 46 | 62 | 80 |
| 点  | 点  | 点  | 点  |

 $\square \times \times \square$ 

▽ランキングランド・プール2  
本 一将(実業団) ガンカク  
菊地凌之輔(全空連推薦) スーパーリンペイ  
新馬場一世(東海地区) パーパーレン  
大昌虎太郎(中国地区) パーパーレン

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 24 | 25 | 26 | 26 |
| .  | .  | .  | .  |
| 66 | 68 | 00 | 80 |
| 点  | 点  | 点  | 点  |
| 4  | 3  | 2  | 1  |
| 位  | 位  | 位  | 位  |

★ ★ ★

▽ランキングラウンド・プール1

|     |    |         |          |
|-----|----|---------|----------|
| 喜友名 | 諒  | (前年度優勝) | パイカー     |
| 西山  | 走  | (九州地区)  | スーパージンペイ |
| 林田  | 至史 | (全空連推薦) | ウンズ      |
| 本   | 龍二 | (関東地区)  | ウンズ      |

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 25 | 25 | 26 | 27 |
| .  | .  | .  | .  |
| 02 | 40 | 48 | 86 |
| 点  | 点  | 点  | 点  |
| 4  | 3  | 2  | 1  |
| 位  | 位  | 位  | 位  |

★ ★ ★

▽決勝戦  
清水 希容（前年度優勝） チャタンヤラ・クーサンクー  
大野 ひかる（九州地区） パーブルーレン

$$\begin{array}{cc} 27 & 26 \\ \cdot & \cdot \\ 42 & 94 \\ \text{点} & \text{点} \end{array}$$

□ ×

▽3位決定戦  
 清野 真歩（関東地区）  
 水月 那月（全空連推薦）  
 石橋 咲織（全空連推薦）  
 岩本衣美里（実業団）

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 26 | 25 | 25 | 25 |
| .  | .  | .  | .  |
| 02 | 20 | 08 | 86 |
| 点  | 点  | 点  | 点  |

$$\square \times \times \square$$

▽ランキングラウンド・プール2  
大野ひかる（九州地区）スーパージンペイ  
岩本衣美里（実業団）アーサン  
清水 那月（全空連推薦）スーパージンペイ  
大内美里沙（全空連推薦）チャタシヤラ・クワサンクー

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 25 | 25 | 26 | 27 |
| .  | .  | .  | .  |
| 34 | 48 | 22 | 18 |
| 点  | 点  | 点  | 点  |
| 4  | 3  | 2  | 1  |
| 位  | 位  | 位  | 位  |

★ ★ ★

▽ランキンググラウンド・プール1  
清水 希容（前年度優勝）スパーリンペイ  
尾野 真歩（関東地区）パーブルーレン  
石橋 咲織（全空連推薦）ウンスー  
宇海 水稀（学連）スパーリンペイ

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 24 | 24 | 25 | 25 |
| .  | .  | .  | .  |
| 94 | 94 | 06 | 94 |
| 点  | 点  | 点  | 点  |
| 4  | 3  | 2  | 1  |
| 位  | 位  | 位  | 位  |

★ ★ ★

好評発売中

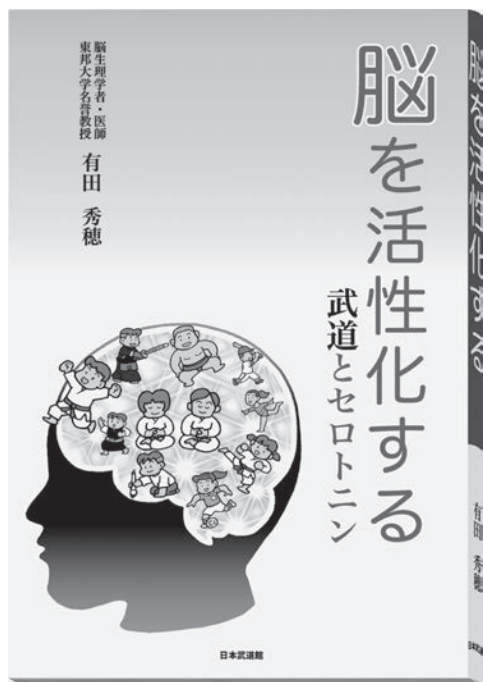
脳生理学者・医師  
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

# 脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが  
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5 判・並製・346 頁・1600 円+税

有田 秀穂  
(ありた・ひでほ)

昭和 23 年 (1948) 東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。



## 主な内容

### 第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン  
ストレスとしごき  
空海はセロトニン活性の達人  
『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング  
沢庵の「不動智」とワーキングメモリー  
不動明王と心の三原色  
『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識  
悪夢を消すには？  
精進料理とセロトニン合成  
「茶の湯」とセロトニンの生活  
「自然に体が動いた」を脳科学で解く  
勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する  
「武道の礼法」は社会脳を育む  
相撲の「四股」は品性を育む  
書道も心技体の人間修行  
アンドロゲンと闘争心

日本の祭にはセロトニンがたっぷり  
スキップとオキシトシン  
空手の稽古は坐禅修行に通じる  
脳は「丹田呼吸法」をどう操るか  
試合における最適な覚醒状態  
サイエンスは「気」をどこまで解明したか  
仙人術を脳科学する

### 第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長 松永 光  
東邦大学名誉教授 有田 秀穂

… 他

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

## 日本武道館発行の単行本



# 日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



# BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

(翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット)

(B5判・上製・DVD付・336頁)

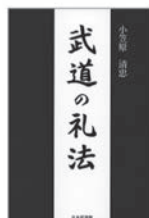


# 武士道に学ぶ

皇學館大学教授

菅野 覚明 著

(四六判・上製・344頁)



# 武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

(四六判・上製・278頁)



# マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)



# 武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



# <増補版> 私も武道経験者です

月刊「武道」記者

吉野 喜信 著

(四六判・上製・326頁)



# 今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



# 大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)



# 武道・ スポーツの真髄

スポーツドクター

辻 秀一 著

(四六判・上製・248頁)



# 武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



# 武の素描

埼玉大学教授

大保木輝雄 著

(四六判・上製・220頁)



# 柔道史上初のワンマッチ 日本代表内定選手決定戦

## 阿部一二三が五輪代表<sup>66キロ級</sup>に決定

昨年12月13日、柔道の総本山である講道館（東京都文京区）で、東京オリンピックの柔道男子66キロ級日本代表内定選手決定戦が行われた。試合は五輪代表をかけて接戦を繰り広げてきた阿部一二三（23）Ⅱパーク24Ⅱと丸山城志郎（27）ⅡミキハウスⅡが対戦。

互いに一歩も引かない攻防を展開し、最後は阿部が大内刈で丸山から技有を奪い24分におよぶ激闘を制した。

コロナ禍のため、試合は無観客で関係者のみが立ち会った。五輪の選考会としては日本柔道史上初のワンマッチで実施された。

試合時間は4分。その後、時間無制限の延長に入り、どちらかにポイントが入った時点で勝敗が決まるゴールドスコア方式によって行われた。

会場となった講道館7階の420畳敷きのフロアには、国際ルールに基づき赤と黄色の試合場1面分が設けられ、そこに阿部・丸山が対峙する。

正面にある柔道の創始者・嘉納治五郎師範の肖像写真が2人を見つめ、そばで全日本柔道連盟役員が注視、8階観客席から阿部、丸山の関係者が見守る。スタッフも含めれば200人近い関係者がいたが、新型コロナウイルス感染防止のため周りからの声援は禁止されて無音に近く、換気のための風音がわずかに聞こえるだけ。静寂の中、異常な緊張感に包まれて試合が始まった。

阿部が右組、丸山が左組のケンカ四つで激しい組手争いを繰り広げな

阿部（上）が大内刈で勝負を決めた







◀阿部（右）が担技に出る



▶静寂の中で組み合う両者

がら機を窺<sup>うかが</sup>う両者。間合いを詰めて投技に入りたい阿部に対して、丸山はカウンターを狙うが、一瞬でも隙を見れば相手に技を決められてしまう。残り1分27秒で丸山に指導が入り、阿部がやや優勢に見えた。本戦の4分間があつという間に終了し、延長戦へと突入した。

大内刈を狙う阿部に対して、慎重にそれを躲<sup>か</sup>す丸山。少し守りの姿勢となつている丸山に二つ目の指導が与えられ、追い込まれるが、すぐさま阿部にも指導が入った。しかし、阿部は足技を中心に積極的になおも攻める。無観客のためか2人の激しい息づかいがはっきりと聞こえてきた。

延長13分を経過しても両者の眼光は鋭く相手を見つめ、技の勢いは決して衰えずに厳しく攻め続ける。指導による相手の反則負けを狙う様子は両者からは感じられない。あくまで技による決着を狙っているようだった。

これまで互いに激しい攻めを見せるものの、相手を追い込むような技は出せていない。しかし、延長17分で試合が大きく動く。前に出てくる

阿部に対し、丸山が狙いすました肩車を仕掛けると阿部の体が大きくのけぞる。阿部は咄<sup>とつ</sup>嗟に身体をねじって何とか窮地を逃れた。

そして、阿部の負傷による2度目のケガによる治療を終えて再開した延長20分。互いに引手を取り合う組手争いから、先に引手を持った阿部が勝負に出た。阿部が素早く大内刈を繰り出すと丸山の体が崩れる。丸山はそれを回避しようと返技を出すものの、阿部が渾身<sup>こゑしん</sup>の力で身体をあびせて、その背をついに畳につけた。

審判から「技有」が宣言され、開始から24分におよぶ戦いを制したのは阿部。およそ2年間におよぶ東京五輪代表をかけた両者の戦いについて終止符が打たれた。

礼をすませ、何度も領<sup>うなず</sup>きながら試合場を後にすると、阿部は溢<sup>あふ</sup>れる感情を抑えきれず、感涙にむせた。



試合直後、東京五輪の男子66キロ級代表として、阿部が内定したことが全日本柔道連盟強化委員会より発表された。これで男女各7階級の計14階級の個人代表選手がすべて出そろった。

# 自分の柔道を貫き勝利 最後に掴んだオリンピック日本代表

●男子66キロ級代表内定Ⅱ阿部一二三（パーク24）



阿部一二三（あべ・ひふみ）

1997年8月9日生まれ、23歳。兵庫県神戸市出身。2020年4月、神戸大学を経て、2020年4月にパーク24入社。17年、18年に世界柔道選手権大会優勝

「すごく長い戦いでした。気持ちと気持ちの戦い。その戦いで勝ち、やっとオリンピック代表というスタートラインに立てました。試合は長かったです。自分が押されている場面も含めて冷静に判断でき、自分の柔道をやりきりました。試合中は負けた時のことが頭をよぎることはありませんでした」

勝者インタビューに応じる阿部は、大粒の汗を流しながらそう答えた。一番に勝利を報告したい人とはどの質問に対して、思いが込み上げたのか言葉を詰まらせた。

「一番は誰とかはなく、本当にたくさんの方が応援してくれて、その方々全員がいなければこの勝ちはないかと思う。すべての方々が一番に感謝したいです」

泣きながら答えるその言葉からは、飾らない真実を語っているのがよくわかる。ここまで多くの関係者が阿部の勝利を信じて支え励まし、阿部はそれに応えるため我慢強く稽古を行ってきたのだろう。

2018年9月の世界柔道選手権大会で連覇を達成したものの、18年11月のグランドスラム大阪、19年4

月の全日本選抜体重別選手権大会、そして同8月の世界柔道選手権で丸山に3連敗。しかし、同11月のグランドスラム大阪で勝利して五輪の代表レースに踏みとどまった。

五輪代表をかけて、これまで阿部は丸山と熾烈な争いを繰り広げてきたが、その丸山に対してどのような気持ちを抱いているのか。

「丸山選手がいなかったら、自分はここまで強くなれなかった。本当にライバルといえる大きい存在です」

全日本柔道連盟の金野潤強化委員長は「ライバルの存在は選手を大きく成長させる。阿部は素晴らしく成長したと思う」と記者会見で語った。阿部を一回りも二回りも成長させたのは他でもないライバルの丸山であった。

2020年4月、新型コロナウイルス感染拡大のため、男子66キロ級代表の最終選考会となるはずだった全日本選抜体重別選手権大会が中止となった。ほぼ一年もの間、実戦もなく五輪代表が決まらない状態が続いたが、この間、何を考え、取り組んでいたのだろうか。

「66キロ級のみが決まっておらず、

もやもやする時期がありました。練習は満足にできませんでしたが、逆に柔道にとことん向き合う機会ができ、成長できたと思います。しっかりと走り込めたので、試合ではスタミナは切れませんでした」

そして日本柔道では史上初となるワンマッチとなった。

「ワンマッチが決まってからはやるしかないと考えて作り上げてきました。今まで経験したことがないような緊張感のある場面でした。あの場面を経験できてよかったです」

五輪が内定して妹の阿部詩（女子52キロ級）と日本柔道初となるきょうだいそろっての五輪代表となった。場内ではその詩も兄の勝利に涙した。

「やつと2人で金メダルをとうとうと言えます。五輪では自分が一番輝く場所にしたい。金メダルを目指したいです」

丸山との壮絶な代表レースを繰り広げる中で大きな成長を遂げた阿部。その瞳は既に五輪を見つめ栄冠への闘志を燃やしている。阿部一二三の東京オリンピックでの活躍を期待したい。

○丸山城志郎（ミキハウス）



「最初から最後まで勝ちにいくぞ」という気持ちだけでした。最後は、『投げられたな』という感覚でした。ここまで強くなれたのは、阿部選手が存在が大きかったのは間違いありません。しかし、勝負の世界は結果がすべて。毎日稽古に付き合ってくれた大野将平先輩をはじめとして、お世話になった方々に負けたことで恩返しができなくて申し訳ない気持ちです。そして、ここまで付き合ってくれたことに感謝の気持ちでいっぱい。僕の柔道人生はこれで終わりではありません。これからも肉体的にも精神的にも強くなれるよう精進していきたいです」

▼金野潤全日本柔道連盟強化委員長  
「両者に心から敬意と感謝をしたい。東京オリンピックでは、阿部選手は丸山選手の思いを背負って戦ってくれるはずだ。ワンマッチはコ

ナ禍での特別措置として実施した。どんなメリット・デメリットがあったのかはまだ言えない。今後は、各委員と相談しながら対応していきたい」

▼井上康生全日本柔道連盟男子監督  
「両者とも素晴らしい試合をしてくれた。とにかく2人の戦いぶりはすごかった。2人には心から感謝したい。選考レースではなく、本戦で2人に戦ってほしかったというのが本音。史上初の戦いであつたし、柔道家の誰もしたことのない準備を両者はしてきたのだと思う。この経験が必ず次につながる。阿部は丸山の分も背負ってオリンピックで頑張ってもらいたい」



試合を見つめる井上監督

【写真は全て全日本柔道連盟提供】

## 東京オリンピック柔道個人代表 14 選手が内定！

### ■男子

- ◎ 60kg 級…高藤直寿（パーク 24）
- ◎ 66kg 級…阿部一二三（パーク 24）
- ◎ 73kg 級…大野将平（旭化成）
- ◎ 81kg 級…永瀬貴規（旭化成）
- ◎ 90kg 級…向翔一郎（ALSOK）
- ◎ 100kg 級…ウルフ アロン（了徳寺大学職）
- ◎ 100kg 超級…原沢久喜（百五銀行）

### ■女子

- ◎ 48kg 級…渡名喜風南（パーク 24）
- ◎ 52kg 級…阿部詩（日本体育大学）
- ◎ 57kg 級…芳田司（コマツ）
- ◎ 63kg 級…田代未来（コマツ）
- ◎ 70kg 級…新井千鶴（三井住友海上）
- ◎ 78kg 級…濱田尚里（自衛隊体育学校）
- ◎ 78kg 超級…素根輝（環太平洋大学）

※新種目の男女混合団体戦は男女各 3 名の計 6 選手で構成。個人戦に出場する選手のみがエントリー可能。



## マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

B5 判・302 頁・本体 1,000 円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。  
収録偉人一覧：嘉納治五郎（柔道）、高野佐三郎（剣道）、阿波研造（弓道）、  
双葉山（相撲）、船越義珍（空手道）、植芝盛平（合気道）、宗道臣（少林寺拳法）、  
園部秀雄と三田村千代（なぎなた）、鶴沢尚信（銃剣道）

ご注文・お問い合わせ 日本武道館 月刊「武道」編集部 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
<http://www.nipponbudokan.or.jp> インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索！

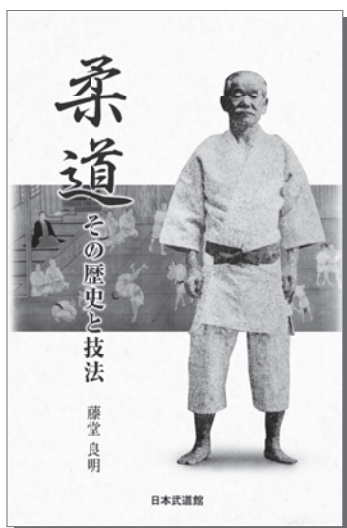


好評発売中!

# 柔道 その歴史と技法

筑波大学体育系教授 藤堂 良明 著

「原点に帰る」には、「原点を知る」必要がある。



四六判・上製・330頁・本体2,400円＋税

柔道の歴史を振り返りつつ、その技法が、どのように形作られてきたのかを、丁寧に解説しています。



武道の稽古は、技を通して精神を磨き、やがて社会のためになるという教育の道でもあった。時代は移り変われども、日本の伝統に培われた「武道としての柔道」を見失わないでいただきたいと願うものである。(本書「あとがき」より抜粋)

## 目次

|                                                                                      |                                                                                                                                                                                      |                                                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 第一章 組討ちの起こりと技法<br>体術の起こりと技法<br>組討ちの体系化と技法                                            | 第三章 講道館柔道の歴史と技法<br>講道館柔道の創設と技法<br>嘉納治五郎の乱取開発<br>講道館柔道の行事と整備<br>警視庁武術大会の勝利と技法<br>学校体操への柔道導入の試み<br>学校における柔道普及の実態<br>高専柔道の起こりと技法<br>嘉納治五郎の他武道への接近<br>精力善用国民体育の創案と技法<br>全日本柔道選士権大会の開催と技法 | 第四章 第二次世界大戦後の柔道復活と技法<br>第二次大戦中の柔道界と技法<br>第二次大戦後の柔道禁止と復活<br>格技柔道から武道柔道へ<br>女子柔道の競技化と技法 |
| 第二章 柔術諸流派の歴史と技法<br>竹内流腰廻<br>関心新心流柔術<br>起倒流柔術<br>起倒流柔道<br>直信流柔道<br>真之神道流柔術<br>天神真楊流柔術 | 第五章 柔道技法の変遷と国際化への課題<br>柔道技法の変遷と特徴<br>柔道の国際的普及と発展<br>段位制度の国際比較<br>柔道の国際化と課題                                                                                                           |                                                                                       |

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

好評発売中！

公益財団法人講道館道場指導部課長  
**向井幹博**  
(むかい みきひろ) 著

収録時間170分を超える  
解説DVD付属！

役に  
立つ

# 少年柔道指導法

DVD付き

役に  
立つ **少年柔道指導法**

向井 幹博



## 〈目次〉

### 第1部 解説編

- 第一章 少年柔道は柔道指導の原点
- 第二章 基本動作の指導
- 第三章 技の指導
- 第四章 教育の中の柔道
- 第五章 指導の工夫
- 第六章 少年規定の変遷と問題点
- 第七章 柔道の安全指導
- 第八章 東日本大震災への講道館の対応

### 第2部 実技編

- 第一章 礼法の指導
- 第二章 受け身の指導
- 第三章 基本動作の指導
- 第四章 トレーニング法の指導
- 第五章 柔道の練習法
- 第六章 投技の指導
- 第七章 固技の指導

少年柔道指導の現場で役に立つ好評連載を単行本化。付録のDVDには、写真では伝わりにくかった部分を映像で紹介。  
また、少年柔道が抱える様々な問題点を、講道館所蔵の柔道文献から、解決の糸口を探っていく。

A5判・並製・DVD付・414頁・本体2400円十税



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

# 令和2年全日本柔道選手権大会

## 羽賀龍之介が初の栄冠

コロナ対策 72年ぶりに講道館で開催



初優勝を飾った羽賀龍之介選手

体重無差別で日本一を決する令和2年全日本柔道選手権大会（主催  
Ⅱ講道館、全日本柔道連盟）が昨年12月26日、東京都文京区の講道館  
7階大道場において開催された。講道館で行われるのは、昭和23年以  
来72年ぶりとなる。例年、4月29日に日本武道館で開催されているが、  
新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期され、コロナ対策を講  
じ、無観客での実施となった。

本大会は全国10地区の予選を勝ち上がった40名に推薦選手10名を加  
えた計50名の選手により争われた。

決勝は2016年リオデジャネイロ五輪100キロ級で銅メダルを獲得  
した羽賀龍之介四段（推薦・旭化成）が太田彪雅参段（東京・旭化成）  
と対戦。延長戦の末、羽賀が繰り出した渾身の内股で一本勝ち、悲願  
の初優勝を果たした。





決勝＝羽賀龍之介（左）が太田彪雅を内股でしとめる

試合は、国際柔道連盟試合審判規定および全日本柔道選手権大会申し合わせ事項で行われた。試合時間は4分、時間内にスコアに差がない場合は、時間無制限の延長戦に入り、どちらかにポイントが入った時点で勝敗が決まるゴールデンスコア方式で実施された。

## 1回戦～3回戦

### ◇Aブロック

前回大会優勝のウルフ アロン（了徳寺大職員）、推薦選手の長澤憲大（パーク24）が欠場した。

最初に準々決勝進出を決めたのは、3回目の出場となる石内裕貴（旭化成）。2回戦で山本考一（オネス）に延長での内股で一本勝。3回戦は藤原崇太郎（日本体育大4年）に足車で有効を奪い、勝利した。

2回目の出場となる小林悠輔（旭化成）が1回戦で五十嵐遼介（新潟県警察）を内股で、2回戦で中野寛太（天理大2年）を大内刈で降した。

3回戦では熊代祐輔（ALSO K）と対戦。延長戦で熊代に3度目の指導が入り、反則負。小林が準々決勝に進んだ。

### ◇Bブロック

昨年3位の小川雄勢（パーク24）は欠場。本大会10回目の出場となるベテラン七戸龍（九州電力）が初戦で敗れる波乱があった。

リオデジャネイロ五輪100キロ級銅メダリストの羽賀龍之介（旭化成）と講道館杯100キロ超級を連覇して勢いに乗る影浦心（日本中央競馬会）という、東海大出身の実力者同士による対戦となった3回戦は、延長戦に突入する接戦に。羽賀が内股を中心に積極的に技を繰り出すと、延長2分41秒、影浦に3度目の指導が入り、反則負。羽賀が準々決勝に進出した。

また、初出場の後藤龍真（東海大4年）が初戦で飯田健伍（京葉ガス）に優勢勝、2回戦は不戦勝、3回戦で西山大希（日本製鉄）と対戦。延長戦に突入後、後藤が終始攻め続けた結果、西山に3度目の指導が入り、反則負。後藤が準々決勝に進出した。

### ◇Cブロック

3年ぶりの優勝を目指す王子谷剛志（旭化成）は2回戦から登場。開始2分16秒、体落で石原隆佑（トー

エー企業）に一本勝。3回戦は佐藤和哉（日本製鉄）と対戦。延長戦で佐藤に3度目の指導が入って勝負あり。王子谷が準々決勝に進んだ。

本大会初出場となる81キロ級の佐々木健志（ALSO K）は、1回戦で古田伸悟（日本製鉄）に横四方固、2回戦で垣田恭平（旭化成）に崩壊、3回戦では優勝経験もあるベテラン加藤博剛（千葉県警察）に肩固と、いずれも寝技で一本勝を収め、準々決勝に進出した。

### ◇Dブロック

昨年3位の太田彪雅（旭化成）は初戦となる2回戦で小川竜昂（日本製鉄）を内股すかしで降すと、3回戦で東京五輪90キロ級代表に内定している向翔一郎（ALSO K）と対戦。本戦では決着がつかず延長戦に入ると太田が積極的な前に出る。そして延長3分13秒、払腰で一本勝。太田が準々決勝に進出した。

3回目の出場で初めて勝ち上がったきた田中原大（日本製鉄）は昨年10月の講道館杯で100キロ級を制した飯田健太郎（国士舘大4年）と3回戦で対戦。この試合も延長戦に突入り、延長1分23秒、出足払で田中が

有効を奪い、準々決勝進出を決めた。なお、今大会出場選手の中で最軽量（60キロ級）の永山竜樹（了徳寺大職員）は、1回戦で100キロ級の河坂有希（愛媛県警察）に小外掛で有効を奪い、価値ある白星を挙げた。

## 準々決勝

### ▼石内裕貴 ○反則負 小林悠輔

ともに旭化成所属の同学年対決となった。右組の石内と左組の小林のケンカ四つとなった対戦は、序盤から激しい組手争いが展開される。両者ともなかなか引手がとれず、しっかりとした技が出せないまま試合は進み、ポイントがないまま延長戦に突入した。

延長に入っても激しい組手争いが続く。開始30秒過ぎには石内が小外刈を仕掛けるも小林が堪えてポイントにはならない。そして延長2分36秒、技が出ない両者に指導が入る。小林はこれが3度目の指導となり反則負。石内が初めての準決勝に駒を進めた。

### ▼羽賀龍之介 ○浮落 後藤龍真

優勝候補の影浦を破って8年ぶりのベスト8進出を果たしたベテラン

好評発売中

小笠原 清忠

(弓馬術礼法小笠原教場)  
(三十一世宗家) 著

# 武道の礼法

相手に誠心が響く礼法を小笠原流礼法宗家が直々に指南する、武道関係者必読の一書。



四六判・上製・278頁

◎ ご注文・お問い合わせ ◎

日本武道館 月刊「武道」編集部  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
<http://www.nipponbudokan.or.jp>

羽賀と大学生で唯一勝ち上がった初出場の後藤の対戦となった。

東海大の先輩である羽賀の胸を借りるかのように序盤から前に出る後藤だったが、開始3分過ぎには両者に指導が入る。ポイントがないまま延長戦に入ると、羽賀が徐々にペースをつかむ。延長1分過ぎ、後藤は羽賀の圧力に耐え切れずに場外に出てしまい後藤に2度目の指導が入る。しかし、攻めあぐねる羽賀に対し、後がなくなった後藤が前に出ると今度は羽賀がたまたま場外に出てしまう。これで羽賀に指導が入り、両者指導2の五分に。しかし、羽賀は落ち着いていた。迎えた延長3分43秒、羽賀が左の奥襟を引いてから

多少強引だったが右の浮落で一本勝を収め、初の準決勝に駒を進めた。

▼佐々木健志 ○一本背負投 王子谷剛志  
初出場ながらここまで全て一本勝で勢いに乗る佐々木と7年連続のベスト8進出となった王子谷の顔合わせとなった。

開始直後、いきなり試合が動く。

佐々木が組み際の小内巻込で有効を奪って先制する。なおも攻める佐々木は開始32秒、一本背負投で技有を奪ってリードを広げる。取り返したい王子谷だが、王子谷が奥襟を取る とすかさず佐々木が技を繰り出し、技を出させない。その後も佐々木は王子谷に有効な技を出さず試合終了。佐々木が見事な試合運びで体重



佐々木健志（左）が一本背負投で技有を奪う

で約60キロ勝る王子谷を降し、準決勝に進出した。

▼太田彪雅 ○反則負 田中源大  
昨年3位の太田と3回目の出場ですべてベスト8に進出した田中の対戦となった。

序盤は静かな立ち上がりとなり、開始1分過ぎ、両者に指導が入る。試合終盤になっても有効な技が出ない中、残り時間1分を切ったところで田中に2度目の指導が入り、そのまま本戦が終了、勝負は延長戦に持ち込まれた。

延長戦に入ると太田が積極的に出る。対する田中はなかなか技が出ない。延長1分1秒、田中に3回目の指導が入って反則負となり、太田が2年連続の準決勝進出を決めた。



## 準決勝①

羽賀龍之介 ○腕挫十字固 石内裕貴

準決勝第1試合は、所属先である旭化成の先輩・羽賀に後輩の石内が挑む形となった。

試合開始から組手争いが繰り広げられるが技が出ず、両者に指導が入る。両者その後もなかなか攻めきれない時間が続くが、2分過ぎ、羽賀が内股を仕掛けるもこれは石内が堪

える。消極的な姿勢の石内に2度目の指導。後がなくなった石内は釣手

のみで大内刈を繰り出す。しかし、羽賀はこれを上手く捌き、そのまま

石内の釣手を腕挫十字固に極める

と、石内はたまたま参ったの合図。

羽賀が一瞬の隙も見逃さない見事な集中力で一本勝を収め、初の決勝進出を決めた。



羽賀（左）が腕挫十字固を極める

## 準決勝②

太田彪雅 ○上四方固 佐々木健志

ここまで順調に勝ち上がってきた昨年3位の太田。対するは初出場ながら準々決勝で過去3回優勝している王子谷を破って勝ち上がってきた81キロ級の佐々木による準決勝となった。

勢いに乗る両者の対戦は接戦が予想されたが、いきなり試合が動く。



機を窺う太田（右）



太田（右）は上四方固で佐々木を破る

開始40秒、太田が袖釣込腰を放つと佐々木はなんとか体を反転させて堪える。しかし、太田はそのまま上四方固に移行し、抑込に入る。返したい佐々木だが、投げられた際に、首を負傷しており、ここで参った。太田が初出場の佐々木を破り、3回目の出場ですべて決勝に進出した。



# 決勝

羽賀龍之介 ○内股 太田彪雅

ともに東海大出身で旭化成所属の先輩後輩対決。羽賀は初戦から全一本勝でここまで勝ち上がってきた。対する太田も尻上がりに調子を上げてきている。どちらが勝っても初優勝となる決勝戦。

羽賀は左組、太田は右組のケンカ四つ。序盤から激しい引手争いが続くが、互いにいいところを持たせない。そして試合開始1分23秒、先に羽賀に指導が入る。その後、羽賀は足を使って太田を揺さぶり、得意の内股を試みるも太田はしっかりと対応する。あつという間に本戦の4分間が終了し、勝負はゴールデンスコア方式の延長戦に持ち越された。

延長に入っても羽賀が積極の前に出て内股を放つが太田も簡単には投げられまいと必死に耐える。それでも羽賀は攻めの姿勢を貫き、前に出る。そして、延長2分に差しかかろうとしたところ、羽賀が場外で渾身の内股を仕掛けると太田はこれを必死に堪える。しかし、羽賀は諦めず、2度、3

度と内股を仕掛けると太田のバランスが徐々に崩れる。苦しい体勢の太田は小外掛でこの窮地の脱出を試みるが、羽賀は太田の右足を跳ね上げる。次の瞬間、太田の体がフワッと宙に浮き、畳に投げつけられた。

仰向けにされた太田は天を仰ぎ、羽賀はしゃがみ込んで喜びを囁み続けた。29歳、円熟期を迎えた羽賀が若手の挑戦を退け、悲願の初優勝を成し遂げた。



がっぶりと組んで、羽賀（左）は太田の隙を探る



羽賀（手前）が渾身の内股を放つ

# 覚悟を持って掴んだ悲願の初優勝

## ◎優勝Ⅱ羽賀龍之介四段（推薦・旭化成）



——今大会を振り返って。

「まず、コロナ禍で全日本選手権を開催していただいたことに感謝しています。自分に何ができるかを毎日突き詰めてきました。そういった意味で今までの大会とは違う気持ちで湧き上がり、一戦一戦集中して戦うことができました」

——会場が日本武道館ではなく講道館となり開催時期も異なり、また、無観客試合での開催となりましたが。

「良くも悪くもこの独特の雰囲気がある」

## ◎準優勝Ⅱ太田彪雅選手（旭化成）

「講道館杯では結果が出せなかったのですが、この全日本では優勝する気持ちで戦いました。（決勝は）相手が会社の先輩だったので、それは

全日本選手権だなと感じました。その中でしっかりと勝ち切れたことは良かったと思います。いつになるかはわかりませんが、観客でいっぱいになった日本武道館で試合ができたらしいと思います」

——大学・所属先の後輩との対戦が多かったが、影響はありましたか。

「29歳という年齢で、諦めるのは簡単ですが、『年下には負けられない、後輩には負けられない』という意地を持って戦い切れたことが今日の勝因だと思います」

——どのようなモチベーションで試合に臨んだのでしょうか。

「今日は選手選考ということを全く考えずに試合に臨みました。モチベーションを保つのに苦労した時期もありましたが、全日本選手権という

関係なく、必ず自分が優勝すると心を鬼にして試合に臨みました。組手で圧を受けて妥協し、背中を持ちにいったのが勝負の分かれ目だったかなと思います。優勝を狙っていたの

大きなタイトル獲得に向け、『やってやろう』という気持ちが出てきたことが戦い抜けた要因だと思います」

——大学の後輩である影浦選手との試合はどのような気持ちで臨みましたか。

「影浦はすごく成長しています。彼が東海大学に入ってきた時から、毎日稽古していたのですが、後輩にコロッと負けるようじゃ先輩として示しがつかないと思っていました」

——ご自身の父親も出場していた全日本選手権にはやはり特別な思い入れがありますか。

「全日本選手権には父親も5回出場しており、自分が生まれた次の日の全日本選手権が父にとつて最後の全日本でした。ですので、全日本選手権には特別な思いがあります。今回優勝することができ、親孝行ができたと感じています」

で2位は満足していませんが、講道館杯で自信をなくしていたので多少の自信にはなりました。（今後は）全日本体重別があるのできっちり勝てるよう頑張りたいです」

## ▽東京五輪90キロ級代表

### 向翔一郎選手（ALSOK）

「講道館なので、全日本選手権という感じはしなかったです。やはり日本武道館でやりたいというのが率直な気持ちですが、こういった状況で試合に出場できたことを誇りに思います。重量級の選手は力が強くて技をかけても効かないので、自分のやりたいことができなかったです」

### ▽出場選手中最軽量（60キロ級）

#### 永山竜樹選手（了徳寺大職員）

「柔道家にとって夢の舞台である全日本選手権の畳に立てて幸せな時間でした。小さい頃から大きな選手に勝ちたいと思ってやってきました。重量級の選手と戦うことは他の大会ではないのでとても楽しかったです。（1勝したこと）小さな子に少しでも勇気や希望を与えられて良かったと思います」

### ▽王子谷剛志選手（旭化成）

「全日本選手権は一番燃える大会ですし、この大会のためにやってきましたが、他選手に研究されてなかなか自分の柔道ができなかったです。（佐々木健志選手との試合では）ファーストコンタクトで取られてしま

▽影浦心選手（日本中央競馬会）

「全てにおいて羽賀選手を下回っていました。羽賀選手の上質な試合運びに付きあつてしまい、何もできませんでした。全日本チャンピオンになるにはまだまだ足りない部分があるので、もっとレベルアップしていきたいと思います」

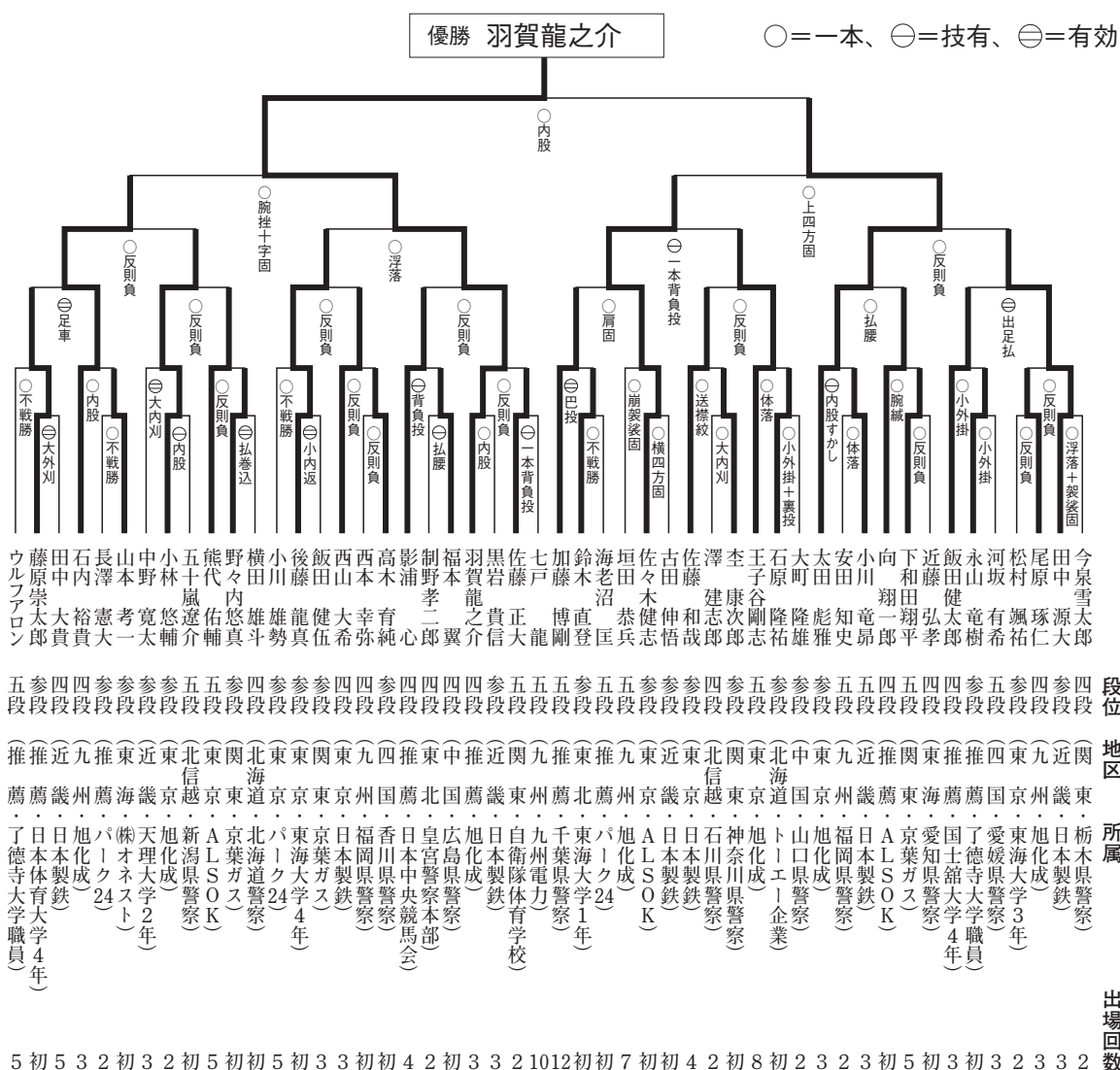
▼金野潤 全日本強化委員長

「優勝した羽賀選手について、決勝では見事な一本勝ちで、また優勝候補の影浦選手を破つての優勝ということで、価値のある優勝だと思います。彼の今までの経験が全て集約された結果でしょう。（向選手、永山選手について）2人とも大会を盛り上げてくれました」

▼井上康生 全日本男子監督

「優勝した羽賀選手について」内  
容もすばらしく、全日本を盛り上げ  
てくれました。経験値を生かした戦  
いができていたと思います。決勝も  
太田選手に自分の柔道をさせない戦  
い方をしていました。今後も彼の成  
長を見守っていきたいと思います」  
【写真は全て全日本柔道連盟提供】

## 令和2年全日本柔道選手権大会



好評発売中！

漫画家・別府大学客員教授

田代しんたろう 著

# マンガ・武道のすすめ

B5判・並製・236頁・本体1000円＋税

## マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう



日本武道館

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

### 《目次》

序章 武道のすすめ

松永光(日本武道館)／高村正彦(武道議員連盟)／有松育子(文部科学省)

第1章 いざ！ 武道の世界へ

第2章 柔道のすすめ

大澤慶己／長谷川博之／腹巻宏一／吉村和郎／山内直人

第3章 剣道のすすめ

森島健男／角正武／千田重光／井上茂明／小林知洋

第4章 弓道のすすめ

森永良雄／吉本清信／宇佐美義光／柴田猛／大和田正孝

第5章 相撲のすすめ

塔尾武夫／住吉和則／下村勝彦／安井和男

第6章 空手道のすすめ

金城裕／長谷川伸一／安里廣之／山本英雄／大石武士

第7章 合気道のすすめ

多田宏／磯山博／菅沼守人／珠玖仁

第8章 少林寺拳法のすすめ

合田清一／阿達美恵子／八巻哲／松浦哲也

第9章 なぎなたのすすめ

澤田花江／梶山武子／一川治子／左村美穂子／大津博美

第10章 銃剣道のすすめ

桑原正治／兼坂弘道／遠藤守／石川慎也／北村弘之

第11章 古武道のすすめ

竹内藤十郎(柔術)／笹森建美(剣術)／加藤伊三男(槍術)／小笠原清忠(三馬術)

日本武道館の歴史

編集・発行 公益財団法人日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158



## 日本武道館発行の単行本



### 今、なぜ武道か —文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



### BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



### 武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



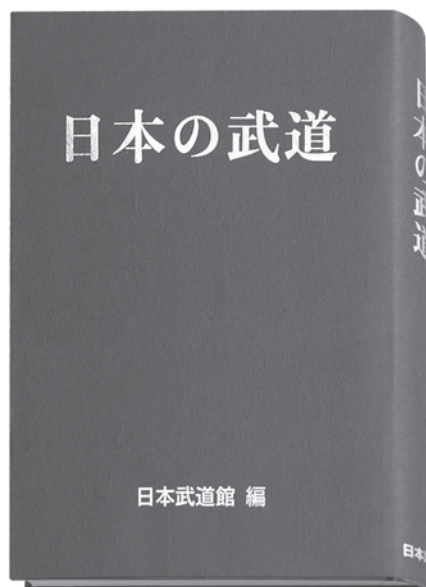
### 大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・  
少林寺拳法などさまざまな銃剣道をはじめ、  
各武道統括団体の全面協力によって完成!!  
一千数百年の歴史を有する  
武道の全容をこの一冊に集大成!!  
武道小百科事典としても役立つ  
充実した巻末の資料編!!



(B5判・上製・箱入・526頁)



日本武道館 編

# 日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

第35回皇后盃全日本女子柔道選手権大会

富田若春 (コマツ) が念願の初優勝

第35回皇后盃全日本女子柔道選手権大会（主催Ⅱ講道館、全日本柔道連盟）が昨年12月27日、推薦選手6名を含めた40名が参加して講道館（東京都文京区）で実施された。

試合は国際柔道連盟試合審判規定（2018～2020）および全日本選手権大会申し合わせ事項で行われ、試合時間は4分、制限時間内に決着がつかない場合は時間無制限の延長戦を行った。

決勝は、いづれもコマツ所属の富田若春<sup>たわかは</sup>と橋本朱未<sup>はしもとあゆみ</sup>の同門対決となり、延長戦の末、橋本が指導3を受けて反則負けとなり、富田が念願の初優勝を果たした。

◆ 本大会は一昨年まで4月中旬に横浜文化体育館（神奈川県横浜市）で開催されていたが、昨年の新型コロナウイルス感染拡大の影響で大会を延期し、会場を変更しての開催となった。会場では感染防止のため、マスク着用の義務化、入場者全員の健康記録表の提出、出場選手のウイルス検査の実施、試合場の消毒など、万全の予防対策を講じて実施された。



準々決勝②＝橋本（左）が小外刈で勝利



準々決勝①＝桑形（下）が積極的に技を仕掛ける



準々決勝④＝稲森（右）が大内刈で攻める



準々決勝③＝富田（上）が小外掛を決める

## 準々決勝

### ① 桑形萌花 ○反則負 中原 爽

優勝の最有力候補だった朝比奈沙羅を2回戦で破り、スタミナを武器に勝ち進んだ高校3年生の桑形萌花と、大学3年生の中原爽の対戦で互いに右組。試合は中原が体格を活かして圧を掛け、優位に試合を進めるも決め技が出せないまま、両者に指導1が与えられた状態で延長戦に突入した。そして、延長3分31秒、桑形が技をかけ続けた結果、消極的に

なり始めていた中原に指導3を与えられ試合終了。桑形が初めて準決勝へ駒を進めた。

### ② 橋本朱未 ○小外刈 秋場麻優

橋本は右組、秋場麻優は左組のケンカ四つ。2人は2020年の講道館杯の準決勝で対決し、その時は橋本が勝利している。試合開始から1分26秒、橋本が消極的姿勢をとったとして指導1。その後も互いに技を仕掛けるタイミングを狙うも決まらず。本戦の残り時間1分30秒で組み合わないとして両者に指導が与えられ、試合はそのまま延長戦へ。試合

が動いたのは延長戦開始直後。橋本が秋場の隙をつき小外刈で技有を奪い、ベスト4進出を決めた。

### ③ 富田若春 ○小外掛 児玉ひかる

一昨年3位の富田と東海大2年の児玉ひかるの対決。富田は右組、児玉は左組のケンカ四つ。両者は試合開始からがっぷりと組み合い足払で機を伺う。そして開始48秒、富田は、児玉が大内刈を仕掛けてきたところを小外刈で見事に一本勝。順当に準決勝へ勝ち進んだ。

### ④ 稲森奈見 ○払腰 梅木真美

本大会最多出場を誇る稲森奈見と2019グランドスラム大阪78キロ級優勝の梅木真美の組み合わせ。稲森は体格差を活かして攻勢に出る。対する梅木は技で対抗するが、なかなか稲森を崩すことができない。残り時間1分を切ったところで稲森が梅木を上手くコントロールして払腰で有効を奪う。そのまま試合終了となり、ベテランの稲森が一昨年に引き続き準決勝進出を決めた。



## 準決勝

### ① 橋本朱未 ○内股 桑形萌花

180センチの長身を活かした柔道でここまで勝ち上がった橋本と、高校生で唯一準決勝へ駒を進めた桑形。身長は橋本が17センチ勝り、互いに右組の合四つ。橋本は序盤から桑形へ圧を掛け、上手く試合をリードする。対する桑形も持ち前のパワーを活かして橋本へ技を仕掛けるが、橋本にコントロールされ技につなげることができない。試合開始から1分15秒、桑形が消極的と判断され、指導が与えられる。その後も橋本が試合の主導権を握り、開始から2分39秒、橋本が桑形の奥襟を素早く掴み、一気に内股で跳ね上げ、一本勝。橋本が初めて決勝進出を決めた。



準決勝①＝橋本（右）が華麗な内股で一本を奪い決勝へ進む

### ② 富田若春 ○払腰 稲森奈見

前回大会準決勝で朝比奈に敗れ3位の富田と、同じく準決勝で前回大会女王・素根輝に敗れた稲盛の対決。両者、序盤から積極的に技を掛け合う。しかし、互いにポイントとなる技がなく、開始から2分30秒、両者は指導を与えられる。そのまま延長戦へ突入。試合が動いたのは延長開始から5分に差しかかるところで稲森が富田の背中に手を伸ばす。次の瞬間、富田が一瞬の隙を見逃さず払腰で技有を奪って勝利した。富田が長時間の試合を制し、初優勝を目指して決勝戦へ進んだ。



準決勝②＝富田（左）が払腰で技有を奪い決勝へ



好評発売中

日本倫理思想史研究の第一人者がわかりやすく説いた、武士道書の決定版。

# 武士道に学ぶ

皇學館大学教授

菅野 覚明 著

四六判・上製・三四四頁・本体二四〇〇円＋税

## 目次

- 第一章 武士道の大意
- 第二章 武士の流儀
- 第三章 実力世界のリーダーシップ
- 第四章 宗教的精神
- 第五章 仁義、忠孝
- 第六章 家族観、教育観
- 第七章 武士道と現代

◎ ご注文・お問い合わせ ◎

公益財団法人日本武道館 出版広報課

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
Tel 03-3216-5147 Fax 03-3216-5158  
<http://www.nipponbudokan.or.jp>



決勝＝富田（右）が粘り強く技を掛け続けて優勝

## 決勝

富田若春 ○反則負 橋本朱未

決勝はともに初優勝を目指す富田と橋本。2人は同門の先輩・後輩で富田が三つ年下となる。両者は昨年の講道館杯の決勝戦でも対決し、富田が勝利している。

互いに右組の相四つ。試合開始から1分30秒、橋本が富田の指を長時間握っていたとして指導1を受ける。その後も膠着状態が続き、開始3分36秒、消極的な両者に指導がそれぞれ与えられ本戦4分が終了。

延長戦に突入し、富田は背負投を仕掛けるも懐の深い橋本を捉えることができない。指導2で後がない橋本はリーチを活かし前に出て圧力をかける。すると橋本の組手を嫌がる富田に二つ目の指導が与えられる。その後も自分の組手にこだわりすぎて技につなげることができない両者。延長開始から6分が経過し、橋本が富田の一本背負投をつぶして寝技で勝負に出る。富田は約2分にわたる橋本の攻撃を凌ぎ切った。試合開始から14分56秒、最後は技の出ない橋本に三つ目の指導が宣告され、手数の差で富田に軍配。富田が念願の初勝利を果たした。

## 新型コロナと自分自身を乗り越えて

◎優勝Ⅱ富田若春（コマツ）  
とみたわがば



かないと態度に出していました。しかし、練習再開後からは自分にそれを言い聞かせて稽古を行い、調子が出ないときはそういう日だと割り切るようになりました。本大会では1試合目であまり体が動いていないと感じましたが、2試合目からうまく動けるようになりました。

新型コロナウイルスの影響で練習のできない状況が続いていました。本格的に練習を再開したのは昨年9月ごろからでした。それまでは組み手の技術や相手の崩し方を勉強するため、今までの試合の動画を確認し、相手の嫌がる動きは何か、自分の技のかけ方をどのようにしたら良いかを考えました。

また、2020年は杉本美香監督から「メンタルを鍛えることが大切」と言われ、自分をコントロールすることを心掛けました。今までは練習で上手くい

決勝戦で同じ所属の橋本先輩と当たりましたが、絶対に勝ちにくくという思いで臨みました。手の内が分かり合っているため戦いづらさがありました。また、途中で寝技をかけられそうになった場面ではここで抑え込まれたくない、何としても勝ちたいという強い気持ちで乗り切りました。その後も体力的に苦しかったのですが、スタミナと気持ちで優勝することができました。

この優勝は自分の自信になりました。今後は次のパリ五輪の代表になれるように頑張ります。

◎準優勝Ⅱ橋本朱未（コマツ）

コロナで厳しい状況が続いていました。本大会では技をかけて攻め切り、優勝する思いで挑みました。決勝戦で戦った富田選手は常に稽古をしている相手ですが、勝ちたいと思う選手の一人でもあります。（決勝戦では）審判が寝技を評価してくれていたにもかかわらず、そのチャンスを活かすことができませんでした。敗因はここにあると思います。今回の結果を受け止めて次の大会に向けて進みたいと思います。

◎3位Ⅱ稲森奈見（三井住友海上）

現在私の所属先は世界大会などのタイトルは獲得していますが、皇后杯だけは獲得していませんでしたので、優勝できずとても悔しいです。

大会の延期が決定した時は、大会がどうなるのかという不安がありました。また、柔道から離れる時間も長かったため、葛藤がありながらも自分にできることをやってきました。下半身の強化トレーニングなどを行い、新たな挑戦をすることができたとします。本大会までの準備期間は良い時間でした。

◎3位Ⅱ桑形萌花（須磨学園鳳川高校）

一年の最後の試合を良い結果で終わることができたと思います。

2020年はあまり試合がなかったこともあり、本大会には万全の状態で挑むことができました。自分より大きい相手が多いので引手から落とすことと技を続け続けることを重視しました。初戦で朝比奈選手に勝つことができたのは自分の強みであるスタミナを活かすことができたからだと感じています。そして3位になれたのはコロナ禍で自分のしてきたトレーニングを生かすことができたからだと思っています。

◆  
▼杉本美香 コマツ女子柔道部監督

講道館杯でも戦った2人が今回決勝で対戦が決まり、試合前に講道館杯以上に組み合って力を出し切るようにと伝えましたが内容は講道館杯と似たような戦い方となっていました。世界選手権や五輪など、大きな大会で2人が活躍するためにはもう一步レベルアップする必要があると感じました。日々の練習をもっと重ねてほしいと感じました。

# 第35回皇后盃全日本女子柔道選手権大会

優勝 富田 若春

○=一本、⊖=技有、⊕=有効

| 優勝 富田 若春   |               |            |           |           |            |           |           |            |            | ○=一本、⊖=技有、⊖=有効 |                 |               |            |               |            |                 |              |              |             |             |              |            |               |               |               |           |            |              |            |               |           |                |              |             |          |              |                |              |
|------------|---------------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|------------|----------------|-----------------|---------------|------------|---------------|------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|-------------|--------------|------------|---------------|---------------|---------------|-----------|------------|--------------|------------|---------------|-----------|----------------|--------------|-------------|----------|--------------|----------------|--------------|
| ○反則負       |               |            |           |           |            |           |           |            |            | ⊖払腰            |                 |               |            |               |            |                 |              |              |             |             |              |            |               |               |               |           |            |              |            |               |           |                |              |             |          |              |                |              |
| ○内股        |               |            |           |           | ⊖小外刈       |           |           |            |            | ○小外掛           |                 |               |            |               | ⊖払腰        |                 |              |              |             |             |              |            |               |               |               |           |            |              |            |               |           |                |              |             |          |              |                |              |
| ○反則負       |               | ○大外返       |           |           | ○反則負       |           | ⊖小外刈      |            |            | ⊖足車            |                 | ⊖小外刈          |            |               | ⊖小外刈       |                 | ○反則負         |              |             |             |              |            |               |               |               |           |            |              |            |               |           |                |              |             |          |              |                |              |
| ○反則負       | ○背負投          | ○不戦勝       | ○腕挫十字固    | ○上四方固     | ○横四方固      | ⊖裏投       | ⊖内股       | ○上四方固      | ⊖背負落       | ○反則負           | ○上四方固           | ○反則負          | ○反則負       | ○崩袈裟固         | ⊖大外落       | ⊖上四方固           | ⊖横四方固        | ⊖内股          | ⊖大内刈        | ○反則負        | ○横四方固        | ○大外刈+横四方固  |               |               |               |           |            |              |            |               |           |                |              |             |          |              |                |              |
| 朝比奈沙羅      | 桑形 萌花         | 鶴岡 来雪      | 立川 真奈     | 浜 未悠      | 井上 あり      | 中原 爽      | 高山 莉加     | 本山 星       | 秋場 麻優      | 朝飛 七海          | 能智亜衣美           | 梅津 志悠         | 荒木穂乃佳      | 橋本 朱未         | 池 絵梨菜      | 黒坂 麻樹           | 大辻 瑛美        | 佐々木 南        | 富田 若春       | 吉岡 優里       | 角田 夏実        | 白石 葵佳      | 玉置 桃          | 兄玉 かる         | 櫻井 未稀         | 佐藤 果      | 中江 美裕      | 福嶋 千夏        | 稲森 奈見      | 吉峰 美母絵        | 鈴木 伊織     | 寺田 多菜          | 菅原 歩巴        | 高橋 瑠璃       | 井上 舞子    | 志々目 愛        | 橋高 朱里          | 梅木 真美        |
| 五段         | 三段            | 四段         | 二段        | 三段        | 三段         | 三段        | 四段        | 三段         | 四段         | 三段             | 三段              | 四段            | 三段         | 四段            | 三段         | 四段              | 三段           | 三段           | 四段          | 三段          | 四段           | 三段         | 四段            | 三段            | 二段            | 三段        | 三段         | 三段           | 四段         | 三段            | 三段        | 四段             | 四段           | 三段          | 三段       | 四段           | 四段             | 五段           |
| (推薦・ビックツリ) | (近畿・須磨学園鳳川高校) | (東京・京・コマツ) | (四国・新田高校) | (東海・百五銀行) | (東京・JR東日本) | (九州・福岡大学) | (関東・筑波大学) | (東北・宮城県警察) | (中国・ALSOK) | (関東・東・桐蔭横浜大学)  | (関東・東・三井住友海上火災) | (東京・三井住友海上火災) | (近畿・兵庫県警察) | (東京・三井住友海上火災) | (近畿・ミキハウス) | (北信越・金沢学院大学大学院) | (関東・自衛隊体育学校) | (北海道・山梨学院大学) | (北海道・旭川刑務所) | (北海道・旭川刑務所) | (関東・了徳寺大学職員) | (近畿・了徳寺大学) | (東京・三井住友海上火災) | (東京・三井住友海上火災) | (東京・三井住友海上火災) | (四国・新田高校) | (関東・了徳寺大学) | (東海・アドヴィックス) | (九州・福岡県警察) | (推薦・三井住友海上火災) | (近畿・近畿大学) | (中国・日本エースサポート) | (関東・久慈東高校教員) | (東北・山梨学院大学) | (東京・警視庁) | (関東・了徳寺大学職員) | (北信越・金沢学院大学教員) | (東京・京・ALSOK) |
| 6          | 2             | 2          | 初         | 初         | 3          | 初         | 5         | 初          | 4          | 初              | 3               | 4             | 初          | 2             | 初          | 2               | 初            | 4            | 4           | 初           | 初            | 初          | 3             | 初             | 2             | 3         | 初          | 7            | 初          | 2             | 2         | 6              | 2            | 3           | 初        | 4            | 3              | 出場回数         |
| Aブロック      |               |            |           |           | Bブロック      |           |           |            |            | Cブロック          |                 |               |            |               | Dブロック      |                 |              |              |             |             |              |            |               |               |               |           |            |              |            |               |           |                |              |             |          |              |                |              |

好評発売中

藤堂良明 (とうどう よしあき)  
(筑波大学名誉教授) 著

# 学校武道の歴史を辿る

四六判・上製・354頁・本体2400円＋税

江戸時代の藩学教育に遡る学校武道の歴史。明治維新を迎え武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度のなかに組み込まれ発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え「格技」として復活、平成20年には「中学校武道必修化」が実現した。

学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。



## 著者略歴

藤堂良明 (とうどう よしあき)

1949年(昭和24)、埼玉県生まれ。東京教育大学体育学研究科修士課程修了。筑波大学教授(体育科学系)、同大学体育専門学群副学群長、同大学附属中学校長、全国国立大学附属学校連盟会長、日本教育大学協会副会長、日本武道学会理事、全日本柔道連盟教育普及委員会委員などを歴任。

現在、筑波大学名誉教授。博士(学術)。柔道七段。埼玉県柔道連盟副理事長。日本古武道協会常任理事。

## 目次

### 第1部 江戸時代の学校武道

- 第1章 藩学の創設と文武学習
- 第2章 藩学における教育目標
- 第3章 藩学における武芸教育

### 第2部 明治時代の学校武道

- 第4章 武芸の衰退と学校教育制度の確立
- 第5章 学校武術採用に関する体操伝習所の答申
- 第6章 山岡鉄舟と嘉納治五郎
- 第7章 嘉納治五郎の学校柔道普及戦略
- 第8章 明治期の学校における武術の普及状況
- 第9章 武術の正課採用への歩み

### 第3部 大正時代の学校武道

- 第10章 文部省主催武術講習会の目的と内容
- 第11章 学校体操教授要目の制定と内容
- 第12章 「学校体操教授要目」制定後の体育界の動向
- 第13章 大日本武徳会の設立と影響
- 第14章 学生武道の隆盛
- 第15章 改正学校体操教授要目の制定と内容

### 第4部 昭和20年以前の学校武道

- 第16章 精力善用国民体育と学校武道
- 第17章 柔・剣道が正課必修に
- 第18章 戦前の学生武道大会の発展
- 第19章 国民学校体操科の登場
- 第20章 第二次大戦中の体操科武道

### 第5部 戦後の学校武道

- 第21章 戦後の学校武道の禁止と復活
- 第22章 「格技」の誕生
- 第23章 格技から武道へ
- 第24章 中学校武道必修化の実現
- 第25章 これからの学校武道のあり方

発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jpお問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158



好評発売中

合気道九段 多田 宏 著

# 合気道に活きる

四六判・上製・402頁・本体2400円＋税

昭和初期に生れ、戦後の早大生時代に植芝盛平、植芝吉祥丸、船越義珍、中村天風、日野正一の諸先生の教えを受け、合気道の稽古を生涯の道と志す。

昭和から平成への激動の時代に、本部道場師範を務め、各大学に合気会を創設、自らの道場も主宰し、さらに欧州各国への普及に尽力。合気道に活きた泰斗の軌跡を余すところなく示す珠玉の一冊。



## 多田 宏 (ただ ひろし)

昭和4年(1929)12月14日生。東京都出身。早稲田大学第一法学部在学中の昭和25年、植芝道場に入門、合気道を始める。植芝盛平先生、吉祥丸先生に師事。同年、天風会入会、中村天風先生に師事。同年、一九会道場入会、日野正一先生に師事。昭和27年早稲田大学卒業。合気道の稽古と日本武道の歴史研究を専門とする道に進む。合気道本部師範・防衛庁師範を務め、慶應義塾・学習院・早稲田の各大学合気道会設立に尽力。師範となる。昭和39年渡欧し、欧州各国での合気道普及に尽力。イタリア合気会を創設。

現在、合気会本部師範、早稲田大学合気道会名誉師範、東京大学合気道会名誉師範、イタリア合気会主任教授、国際合気道連盟委員など。また、合気道多田塾を主宰。合気道九段。

## 目次

### 第一章 生い立ち

- 一 原点
- 二 幼稚園から小学校時代
- 三 第一東京市立中学校

### 第二章 師との出会い

- 一 松濤 船越義珍先生
- 二 植芝盛平先生・吉祥丸先生
- 三 中村天風先生
- 四 鉄叟日野正一先生・みちゑ先生

### 第三章 生き方の方針

- 一 植芝道場 先輩の教え
- 二 命の基を訪ねて
- 三 一生の方針を定める

### 第四章 植芝盛平先生の教えと稽古

- 一 気の錬磨
- 二 合気道の心
- 三 心学の道、心法の道
- 四 稽古と法
- 五 稽古の目的、人の生き方
- 六 「機」について
- 七 錬る
- 八 自然な動き
- 九 場を主宰する

### 第五章 合気道の普及

- 一 合気道の発展
- 二 「気の流れ」の錬磨
- 三 ヨーロッパの合気道
- 四 合気道の国際的普及
- 五 気の流れと縁

### 第六章 呼吸法(調気の法)

### 終章 稽古を顧みる

発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

# 天真正伝香取神道流剣術が 文化庁長官表彰 古武道流派で初



表彰状を受ける飯篠快貞・天真正伝香取神道流剣術第20代宗家（右）

令和2年度文化庁長官表彰の表彰式が昨年12月17日、東京都港区の赤坂インターシティコンファレンスで行われ、天真正伝香取神道流剣術が古武道流派としては初めて団体表彰された。

本表彰は文化活動に優れた成果を示し、我が国の文化の振興に貢献された方々、または日本文化の海外発信、国際文化交流に貢献された方々に対し、その功績を称えて文化庁長官が表彰するもので、本年度は76個人、1団体が表彰された。

表彰式は新型コロナウイルス感染防止のため、出席者を限定した形で実施された。

式では国歌の演奏が流された後、宮田亮平長官より一人ずつ表彰状が手渡された。授与後、宮田長官が挨拶に立ち、「表彰を受けられた皆様、また長年にわたり支えてこられたご家族ならびに関係者の皆様、本日は誠にありがとうございます。本表彰は我が国古来からの伝統文化を継承してこられた方々の功績を称え、表彰を行うものであります。

91年間の生涯で500もの企業の経営に携われ、日本の資本主義の父といわれる渋沢栄一は『どんなに勉強し、勤勉であつても上手いかないこともある。それは機がまだ熟していないからである。ますます自らを

鼓舞して耐えなければならない』と言われました。皆様は今日に至るまで数多くの失敗や挫折に耐えて自らを鼓舞し、そしてまた想像を超える努力をしてこられたことと思います。

世界が困難な状況となり、はや一年が経ちますが、我らがこの危機を乗り越えた時、今まで通りの文化・芸術活動が再開され、世界に誇る我が国の文化を牽引する皆様がより輝いて見えることと思います。

頼もしい皆様方の力をお借りしながら、私も文化庁長官として先頭に立ち、コロナ後の世界で文化の灯火をより強く輝かせることができるよう尽力していきたいと思えます。本日は誠にありがとうございます」と祝辞を述べた。

●喜びの声

天真正伝香取神道流剣術  
第20代宗家・飯篠快貞氏

「この度は日本武道館、日本古武道協会をはじめ、関係各位のご尽力のおかげを持ちまして、栄えある文化庁長官表彰を賜り、厚く御礼申し上げます。古武道が文化財として後世に残るよう努力し続けることが我々の使命であり、本日、より一層その覚悟を深めました。

古来よりある武術を流祖飯篠長威齋家直が体系化し、後にさまざまな

流派が生まれました。現在も傳承され、残っている古武道の流派はそう多くはありませんが、日本古武道のために各流派の先生方と今後も努力し続けていくことが、我々の使命であります。

戦後、占領下においては武道が禁止となる苦しい時代もありましたが、当時の師範林弥左衛門が中心となつて型を維持し、現在に至っております。その間、地元である千葉県では、古武道としては日本で初めて、昭和35年に無形文化財に指定されました。

当流では若い門弟たちが頑張つて稽古をしています。『来るものは拒まず、去る者は追わず』という方針のもと、努力し続けていきたいと考えています。今後、古武道各流派が発展し、さらに隆盛となるように切に願います」



出席者による記念撮影（前列左端が飯篠快貞宗家）



表彰状を掲げる飯篠快貞宗家

## 天真正伝香取神道流剣術

### ■由来

日本武道の源流「天真正伝香取神道流」は、飯篠長威齋家直を流祖として、下総の国（現在の千葉県）香取の地に伝承する武道である。家直公は香取神宮奥の院に近い梅木山に隠棲、ご神徳ある香取大神に1千日の大願をたて、齋戒沐浴、粉骨碎身の修行の末、満願に至る時、香取大神より神示と共に神書1巻を授けられた。その後、子孫連綿と続き、現在20代目飯篠快貞氏に至る。

有名な門流には、上泉伊勢守、塚原土佐守及びト傳、松本備前守、諸岡一羽齋、豊臣秀吉の軍師竹中半兵衛、奥州仙台家老片倉小十郎（白石城主）、幕府旗本には中台信太郎、松本直一郎、伊庭軍兵衛ら、また諸藩の代々指南家等々、枚挙にいとまがない。

### ■系譜

流祖・飯篠長威齋家直—盛近—盛信—盛綱—盛秀—盛繁—盛信—盛長—盛久—盛定—盛重—盛次—盛清—長照—盛照—盛重—盛房—盛貞—金次郎—快貞

### ■流儀の特徴

剣術、居合術、柔術、棒術、槍術、薙刀術、軍学などを学ぶ総合武術である。一つ一つの型が非常に長く作られていて、稽古中は仕太刀と受太刀が激しくぶつかり合う。それは他から技を盗まれないようにしているためである。

### ■流儀の教え

家直公は「敵に勝つものを上とし、敵を討つ者は之に次ぐ」と教えている。敵を討てばいつまでも続く遺恨、敵意で鎮まらず、これを避けるために敵意なき方法で鎮める、これは古今通づる法則、すなわち「兵法は平法である」と教えている。



山神眞一 著

(香川大学教授・同学部長、医学博士、剣道教士八段)

# 役に立つ少年剣道指導法

好評発売中

少年剣道指導の現場で役に立つ月刊「武道」好評連載を単行本化。  
現代の少年剣道が抱える様々な問題点に対して、長年教育現場で培った筆者の視点から解決の糸口を探っていく。少年剣道指導者必読の一書。  
付録のDVDには、写真では伝え切れなかった実技関連の部分を収録時間115分を超える映像で紹介。

解説DVD付属!



A5判・並製・  
256頁・DVD付・  
本体2400円＋税

## 目次

第一章 一眼子どもと少年剣道の今を眼る  
現代の子どもの体と心を見つめ直す／少年剣道の現状と課題／少年剣道に対する保護者の声

第二章 二足少年剣道の足跡とこれから

現代剣道復活の道程とこれからの少年剣道／剣道の国際化と少年剣道の未来／少年剣道拡大の秘密を探る

第三章 三胆指導者の胆力を求めて

少年剣道における指導者の在り方／文武両道と少年剣道／コミュニケーション力と人材育成の極意

第四章 四力技の力を学ぶ

剣道のアイスブレーキング／礼法について／立礼と座礼／木刀・竹刀を使用した構えと素振りの対人的指導法／切り返しの際的指導法／基本打突の打ち方と打たせ方／連続技の打ち方と打たせ方／払い技の打ち方と打たせ方／引き技の打ち方と打たせ方

第五章 残心

海外での剣道事情／中学校における剣道授業あとかぎ

編集・発行 公益財団法人 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158



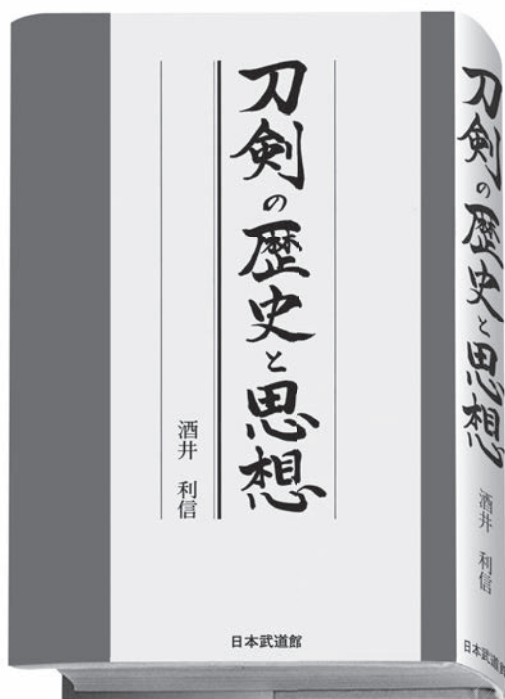
◎好評発売中

筑波大学教授 酒井利信 著

四六判・上製・346頁・本体2400円＋税

# 刀剣の歴史と思想

刀剣を単なる武器としてではなく、  
神聖なものとして捉える思想とは何か――



題字揮毫―鹿島神宮 鹿島則良 宮司

日本独自の展開をみせてきた刀剣に関する思想を、中国、朝鮮など、東アジアにまでルーツをたどりながら、確かな史料を基に考察。古事記・日本書紀に語られる神話、平家物語・太平記などにみられる三種の神器にまつわる記述、鹿島新當流、示現流に伝わる伝書といった歴史的文献を読み解き、日本刀剣思想のオリジナリティを浮かび上がらせる。

## 目次

|               |                     |                     |           |
|---------------|---------------------|---------------------|-----------|
| 序章            | 第二章 刀剣思想の源流         | 第二章 神話的イメージの形成      | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第一章 探求の旅をはじめに | 第二章 古代中国の宝剣伝説       | 第二章 神話的世界の形成と剣神の誕生  | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 干将莫邪の宝剣伝説       | 第二章 天地を繋ぐ剣・草薙剣      | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 高祖の斬蛇剣          | 第二章 信仰のなかの刀剣思想      | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 道教と剣            | 第二章 祀る剣・祀られる剣       | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 古代朝鮮の刀剣思想       | 第二章 辟邪の呪剣           | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 神話的イメージの形成      | 第二章 うけいの呪術と剣        | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 神話的世界の形成と剣神の誕生  | 第二章 修験道と剣           | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 天地を繋ぐ剣・草薙剣      | 第二章 三種の神器の不思議       | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 信仰のなかの刀剣思想      | 第二章 『平家物語』にみる三種の神器  | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 祀る剣・祀られる剣       | 第二章 『太平記』が語る草薙剣像    | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 辟邪の呪剣           | 第二章 剣術伝書に語られる日本神話   | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 うけいの呪術と剣        | 第二章 新當流にみる霊剣の技術     | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 修験道と剣           | 第二章 示現流にみる心の利剣      | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 三種の神器の不思議       | 第二章 近世剣術における刀剣思想の展開 | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 『平家物語』にみる三種の神器  | 第二章 近代以降の刀剣思想       | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 『太平記』が語る草薙剣像    | 第二章 古代と現代を繋ぐ刀剣      | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 剣術伝書に語られる日本神話   | 第二章 鹿島神宮日本刀奉納録      | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 新當流にみる霊剣の技術     | 第二章 終章 稽古照今         | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 示現流にみる心の利剣      |                     | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 近世剣術における刀剣思想の展開 |                     | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 近代以降の刀剣思想       |                     | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 古代と現代を繋ぐ刀剣      |                     | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 鹿島神宮日本刀奉納録      |                     | 第二章 刀剣の歴史 |
| 第二章 刀剣思想の源流   | 第二章 終章 稽古照今         |                     | 第二章 刀剣の歴史 |

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158



月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。